

青木・セザンヌ・ルノワール

Huit figures jouées par chefs-d'œuvre du Bridgestone Museum

名画が奏でる

8つの
ミュージカ

ブリヂストン美術館
コレクション展



ピエール・エミール・リュウ《すわるジョルジェット・シャルパンティエ嬢》1876年

久留米市美術館は、石橋財団の協力の下、ブリヂストン美術館との共同企画の展覧会を開催します。石橋財団が所蔵する約2,600点の名品の中から、絵画や彫刻など96点を展示します。

7月14日(土)～9月9日(日)

久留米市美術館
KURUME CITY ART MUSEUM
ISHIBASHI CULTURAL CENTER



青木繁《わだつみのいるこの宮》1907年(重要文化財)

東西の名作が一堂に
石橋財団ブリヂストン美術館は、西洋の近現代美術や明治以降の日本洋画を所蔵しています。そのコレクションから、セザンヌやモネ、九州初公開となるカイユボットといった印象派や、青木繁やザオ・ウーキーら21世紀の絵画など、名品の数々を公開します。同美術館の、来年秋の再オープンに向けた長期休館で実現した、質・量ともに充実のコレクション展です。

キーワードは「連想」。メインの8作品は、セザンヌ、モネ、ルノワール、青木繁、坂本繁二郎、マティス、藤島武二、ザオ・ウーキーの絵画。これらを取り巻く作品を、主題や色、作家同士の関係によって、緩やかに関連付けて展示することで、今まで見えなかった新たな魅力が現れてきます。

名画の里帰り

青木繁や坂本繁二郎の絵画など、ブリヂストン美術館屈指の名画の一部は、久留米市民にとってなじみの深い作品。いわば「名画の里帰り」が実現しました。

【会期】7月14日(土)から9月9日(日)までの10時～17時
9月1日(土)と8日(土)は19時まで開館し、17時以降の入館

関連イベント

【美術講座】①日仏美術交遊録・7月28日(土)14時～15時30分 ②カイユボットと印象派の画家たち・8月25日(土)14時～15時30分
【ギャラリートーク】会期中の土・日曜14時～14時20分
7月28日、8月25日を除く。
同展覧会のチケットが必要
久留米市美術館(0942・39・1131、FAX 0942・39・3134)

ギユスターブ・カイユボット《ピアノを弾く若い男》1876年



クロード・モネ《黄昏、ベネチア》1908年頃



荒井真紀《たんぼぼ》金のりんご賞

ブラティスラヴァ世界絵本原画展

BIB で出会う絵本のいま

【会期】7月21日(土)から9月9日(日)までの10時～17時。9月1日(土)、8日(土)は19時まで開館し、17時以降の入館は無料
【会場】1階展示室
【内容】スロバキア共和国で2年ごとに開かれる世界最大規模の絵本原画コンクールの受賞作品など、約200点を展示
【料金】800円、65歳以上600円、大学生500円、高校生以下無料

同時開催